

別表（第9条関係）

## チェックリスト

	検査項目	チェックのポイント	欄
1	流入管渠及び放流管渠の勾配	汚物や汚水の停滞はないか。	
2	放流先の状況	放流口と放流水路の水位差が適切に保たれ、逆流のおそれはないか。	
3	調接合等の有無	生活排水が全て接続されているか。 雨水や工場排水等が流入していないか。	
4	升の位置及び種類	起点、屈曲点、合流点及び一定間隔ごとに適切な升が設置されているか。	
5	流入管渠、放流管渠及び空気配管の変形又は破損のおそれ	管の露出等により変形又は破損のおそれはないか。	
6	かさ上げの状況	バルブの操作等の維持管理を容易に行うことができるか。	
7	浄化槽本体の上部及びその周辺の状況	保守点検又は清掃が行きにくい場所に設置されていないか。 保守点検 清掃の支障となるものか置かれてないか。	
8	漏水の有無	漏水が生じてないか	
9	浄化槽本体の水平の状況	水平に保たれているか。	
10	接触材等の変形、破損 固定の状況	嫌気ろ床槽のろ材及び接触ばつ気槽の接触材に変形や破損がないか。 しっかりと固定されているか。	
11	ばつ気装置、逆洗装置及び汚泥返送装置の変形、破損 固定及び稼動の状況	各装置に変形や破損はないか。 しっかりと固定されているか。 空気の出方や水流に片寄りはないか。	
12	消毒設備の変形、破損 固定の状況	消毒設備に変形や破損はないか。 しっかりと固定されているか。 薬剤筒は傾いてないか。	
13	ポンプ設備（流入ポンプ及び放流ポンプ）の設置、稼動状況	ポンプに変形や破損はないか。 ポンプに漏水のおそれはないか。 ポンプが2台以上設置されているか。 設計どおりの能力のポンプが設置されているか。 ポンプの固定が十分行われているか。 ポンプの取りはずしか可能か。 ポンプの位置や配管がレベルスイッチの稼動を妨げるおそれはないか。	
14	プロアーの設置、稼動状況	防振対策がなされているか。 固定が十分行われているか。 アースはなされているか。 漏電のおそれはないか。	
上記のとおり確認したことを証します。			
年　月　日			
浄化槽設備士氏名			
(浄化槽設備士免状の交付番号 _____)			

